

町田市中心市街地整備構想検討懇談会（第3回）【要旨】

日 時 2013年9月19日（木） 午後4時00分～午後6時00分

会 場 町田市役所 2-2会議室

出席者 委員4名

【議題】

1. 中心市街地の全体像・目標・方針について
2. 町田市中心市街地整備構想（案）について

【主な意見】

■全体像、目標・方針、整備方策について

○「中心市街地の全体像、現状と課題」について：

- ・現状と課題については、誰からの視点（空間に現れる現状、行政、市民の認識する現状等）なのかに着目して整理すべき。
- ・その際には統計データ、指標が客観的に示す現状なのかを書き分けるべきである。
- ・分析、考察には検討に際しての判断や意図が盛り込まれているため、市民や関係する事業者の理解のために詳しい説明をつけると良い。各データのまとめ方としては、データごとに地図にしてレイヤー状に視覚化を行うとわかりやすいのでは。

○「中心市街地の目標と方針、整備方策」について：

- ・中心市街地については都市計画マスタープランなどでも謳っているが、整備構想では、公共施設整備として何が必要でどうしてやるのか、これまでの計画との違いを明確にしたい。
- ・行政や民間の役割分担、プロセスの明確化をすべき。
- ・将来的な交通網の整備に関して駅周辺の交通結節点機能のあり方を関連付ける必要がある。
- ・マンションの誘導や市街地の保全も含めて、メリハリをつけたイメージをゾーンごとにつくるべき。

■整備構想（案）について

- ・整備構想が実現した際の、変化がわかる指標や空間イメージがほしい。
- ・あまり具其他的な手法等については構想ではなく計画になってしまうが、構想においてもそれをイメージさせるような目標が必要。

例えば、公園へのシンボルロードは整備するが、その周辺の商業開発は民間がやるというように、目標の中で行政の行うことのラインについて含ませるとよい。

■そのほかこれまでの検討等について

○意見交換会、アンケート結果について

- ・アンケート結果から、マンションに対して何らかの規制が必要だと感じる。どの場所でマンションが増えているのかデータが必要である。
- ・意見交換会で出た方策の実現化のためにも、新たな賑わいの創出、拠点の有効な活用を望む。

○都市機能の分散化と集中について

- ・町田の中心市街地の特性は、平面的な商業地の広がり、歩行者優先空間であるので、複合的な開発は駅周辺に固めるのがよいのでは。
- ・回遊性を高めることを念頭に置くのであればある程度は分散化が必要になると思われる。拠点整備にあわせてネットワークを考えなくてはならないだろう。

■整備構想の構成：まとめ

- ①現状と課題の整理から全体像をより明確化し、既存計画との差別化をする必要がある。
- ②行政と市民・民間の役割を意識してプロセスを構築し、計画に繋げていく必要がある。
- ③将来像をイメージしやすくするために視覚表現も含め分かりやすい構成にする必要がある。

■次回（最終回）日程は 11月15日（金） 午後4時から。